



学校だより

平成31年2月22日

横浜市立高田中学校

3月号(第30-12号) TEL: 591-4183 校長 福田 之男

それぞれの新しい一歩へ～応援しています～

副校長 河野 正美

3月を迎え、日を追うごとに春の気配が高まってきました。あと2週間で卒業証書授与式を迎えます。4月に新たな仲間を迎えた入学式からあっという間に過ぎ去っていった1年だったように思います。

数日前の放課後のことです。数個の段ボールを抱え廊下を歩いていた私に「持ちましょうか」と声をかけてくれた生徒がいました。3年生です。にっこりと微笑んでいました。「ありがとう」と心の底から感謝の気持ちがわいてきました。私を助けてくれようとしたことへの感謝だけではありません。その日は公立高校の共通選抜試験を間近に控えていました。そんな中、微笑みながら声をかけてくれる気持ちの余裕をもっている、そのことに心からありがたいと、また、忙しくとも心にゆとりをもつことの大切さを改めて私に教えてくれたこと、このことへの感謝でいっぱいになりました。

この1年間、3年生は最高学年として体育祭・合唱コンクール・高田祭を始めとするすべての行事を引導してくれました。笑顔・熱い気持ち・温かさを常に併せもち、力を結集して達成感と感動を味わってきました。この1つ1つの経験は着実に1年前の自分を成長させてくれたはずです。3年間共に歩んできた友達、先生、そして家族に改めて感謝の気持ちをもち、これからも自分らしく進んでほしいと思います。卒業式はこの3年間の集大成の日です。輝かしい皆さんの姿を楽しみにしています。

1・2年の皆さんはこれまでお世話になった3年生に感謝の気持ちを態度で表し、また高中の未来を託された責任を心に刻む日です。笑顔と涙でいっぱいになるであろうこの日に、心からの「ありがとう」を交わりたいと思います。



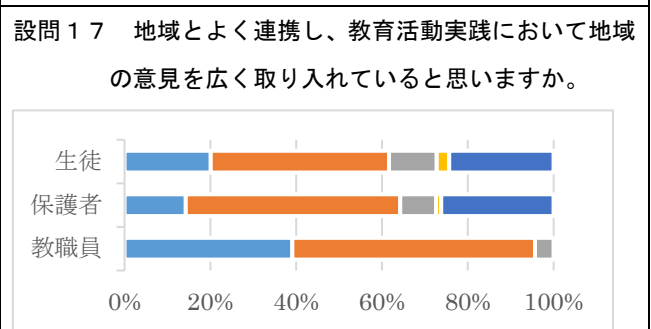
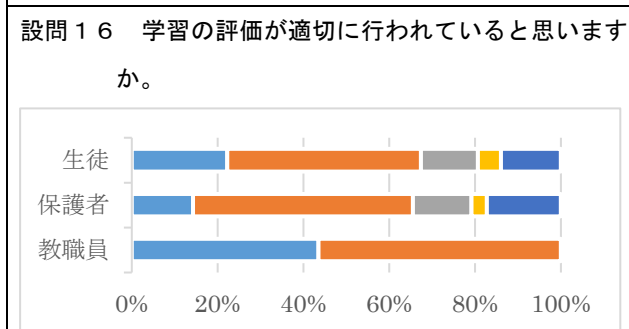
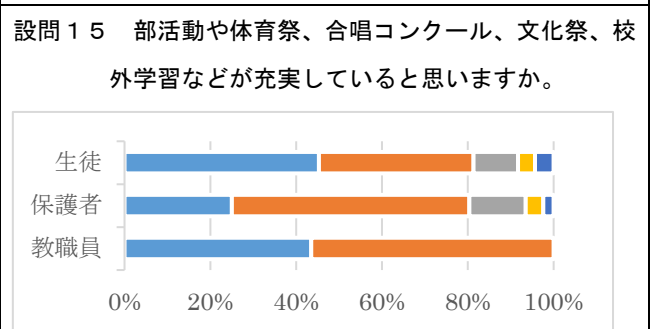
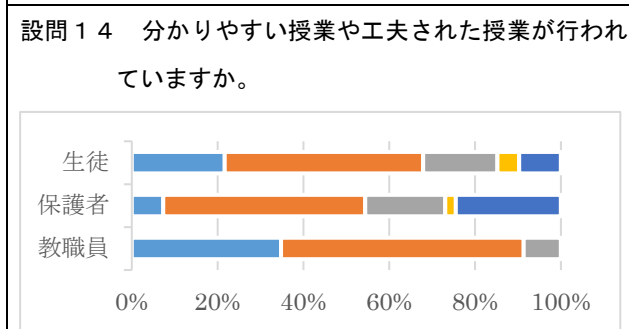
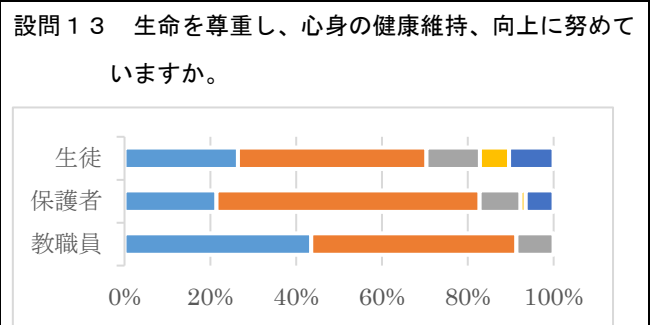
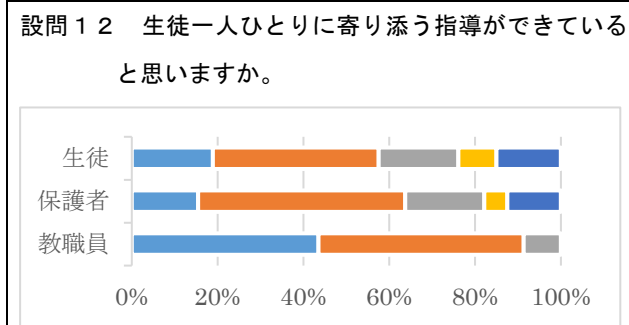
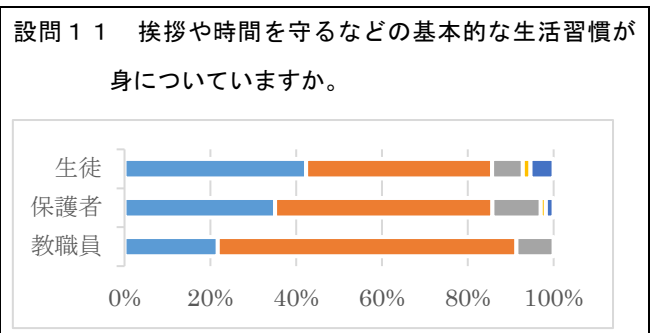
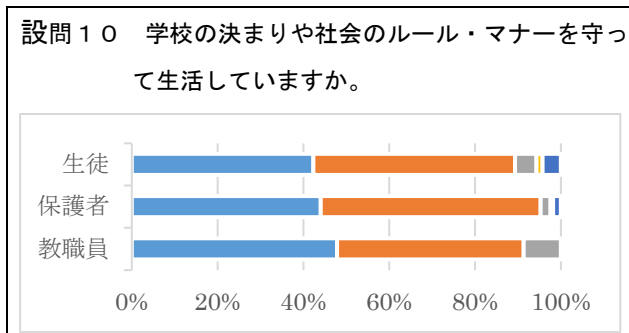
学校評価アンケートについて

12月に実施された「学校評価アンケート」につきまして、ご協力いただき、誠にありがとうございました。ここでその結果を報告させていただきます。(回答：生徒282名、保護者168名、教職員23名)

※ すべての質問に対して、回答選択肢は次の通りです。

1ーそう思う 2ーだいたいそう思う 3ーあまりそう思わない 4ーそう思わない 5ーわからない

<p>設問1 あなた（お子様・高田中生）は、進んで学ぼうとする姿勢をもっていますか。</p> <p>生徒 保護者 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>■ 系列1 ■ 系列2 ■ 系列3 ■ 系列4 ■ 系列5</p>	<p>設問2 あなた（お子様・高田中生）は、学習や行事、諸活動を通して、友達と協力して何かをやり遂げることの素晴らしさを感じていますか。</p> <p>生徒 保護者 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>
<p>設問3 高田中では、学区小学校と連携し、取り組めていると思いますか。</p> <p>生徒 保護者 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<p>以上、設問1～3は、併設型小中学校の取組の一環として、高田中ブロック（高田中・高田小・高田東小）で共通の質問項目となっています。</p>
<p>設問4 生き生きと学校生活を送っていますか。</p> <p>生徒 保護者 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<p>設問5 生命を尊重し、心身の健康維持、向上に努めていますか。</p> <p>生徒 保護者 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>
<p>設問6 日々の授業や活動を通して、思考力・判断力・表現力は高まっていると思いますか。</p> <p>生徒 保護者 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<p>設問7 日々の授業や活動を通しあなたの相手を思いやる気持ちが高まっていると思いますか。</p> <p>生徒 保護者 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>
<p>設問8 日々の授業や活動を通してあなたの体力の向上が図られていると思いますか。</p> <p>生徒 保護者 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>	<p>設問9 職業講話（1年）職場体験（2年）進路学習（3年）などを通して生き方を考える学習は充実していると思いますか。</p> <p>生徒 保護者 教職員</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p>



- ブロック内共通質問項目のうち、設問 2「協力する素晴らしさを感じている」については、『そう思う』『だいたいそう思う』という肯定的な回答が、生徒・保護者・教職員でどれも 8 割を超えており、本校教育活動が一定の成果を上げていることがうかがえます。一方で、設問 1「進んで学ぶ姿勢」と設問 3「小中連携」については、生徒・保護者と教職員間で乖離が見られる結果となりました。今後、特に小中一貫教育を推進していくにあたって、生徒が実際の交流に積極的に加わり、小中連携を実感できるような活動を進めていく必要があると考えます。
- 設問 11「基本的な生活習慣」では、生徒・保護者・教職員のいずれでも 9 割程度の肯定的な回答となっており、設問 10「ルール・マナーを守って生活」の結果と合わせて、本校生徒が家庭・地域・学校の指導・監督のもと、概ね規則正しい生活を送ることができているという現状を表しています。
- 設問 12「一人ひとりに寄り添う指導」では、生徒、保護者とも肯定的な回答が 7 割未満となっています。これまで以上に教育相談活動を充実させたり、個に応じた指導の充実を図るなど、一人ひとりの生徒が安心して学校生活を送ることができるような指導体制を確立する必要があると考えます。
- 設問 14「分かりやすい授業」でも、生徒、保護者の肯定的な回答が 7 割未満となっています。設問 16「学習評価は適切か」や、別途調査している「生徒向け授業アンケート」の結果とも合わせて、「生徒達がどのくらい分かっているか？」について、教師がしっかりと理解することが必要です。その上で、指導法や教材を工夫するなどの方策を考えていくこととなります。
- 高田中ブロックでは、「9 年間で身に付けさせたい資質・能力」を共有したり、新学習指導要領の趣旨理解を図るなど、全教職員による研修も重ねてきています。それを目の前の子どもたちに確実に還元できるような具体策を考えることが求められていると考えます。
- 設問 15「部活動や学校行事が充実している」では、生徒、保護者、教職員のすべてで 8 割以上の肯定的な回答が得られました。今後も、学習活動を含む、あらゆる教育活動を通して、一人ひとりが自分の個性を発揮し、自己肯定感、自己有用感を感じたり、仲間とのつながりを感じたりできるような学校づくりを目指していきたいと思います。

学校運営協議会

2月15日（金）に今年度4回目の学校運営協議会が本校図書室で開催されました。学校運営協議会とは、学校と保護者や地域の皆さんが、地域の子どもを育てるという視点で知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、協働しながら「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。年4回の開催が予定され、今回が今年度は最終となります。



今回の学校運営協議会では、①「学校評価アンケートに基づく各小中学校の今年度の教育活動の振り返り」、②「併設型小中学校としての今年度の取組と来年度に向けて」について協議がなされました。

①の「各小中学校の今年度の教育活動の振り返り」では、各学校で実施された「学校評価アンケート」の結果を基に、考察が説明されました。今年度より3校が併設型小中学校として、共通質問を設定し考察を行ったことも併せて説明されました。

②の「併設型小中学校としての今年度の取組と来年度に向けて」では、高田中ブロック「9年間で育てる子ども像」を具現化するためにどのような資質・能力を伸ばしていくのか、また各校の教育活動を通してどのような資質・能力を育成していくのかについて説明されました。全体を通しての協議では、「学校運営協議会でできることは何か」「学校運営協議会として取り組む課題は何か」について各委員より意見交換がなされ、熱心な議論が行われました。

最後に、早稲田大学人間科学部学術院教授で委員の浅田匡先生より、指導講評をいただき閉会となりました。次年度も、学校と地域が協働して子どもたちの成長を支えていきたいと思っています。